

漢字部

多田 徑雪

今年は金木犀の橙黄色の花が庭々にたくさん咲き、甘い香りを楽しませてくれました。人々を楽しませる、癒す、喜ばせる等その方法は数々あります。墨と筆で表現することも作者の心を伝える手段です。強い線からは勇気をもらい、正確な文字からは清廉さを感じ、そして作品全体からは書いた方の想いが伝わります。来月も様々な想いをのせた作品を楽しみにしております。

漢字部 条幅課題

A 魄依鉤様小 扇逐漢機團

細影將圓質 人間幾處看

(辭壽)

・魄は 鉤様に依よって小さく 扇は 漢機を逐おいて閉とし
細影 將に円ならんとするの質 人間 幾処にか看る
・鎌のような形の小さな月は月の精のようで、漢代の機からできた布を張った円形の扇のような円い月。細い月の姿は、次第に円い月になる性質のもので、人間は各地各様の月を、いろいろな思いで眺めるのである。

B 雲山漫漫使人愁

(張祐)

・雲山漫漫として 人をして愁うれえしむ
・雲山のみが漫々とほてもなく幾重にも重なっていて 旅人の心を愁えさせる

(しめきり)……………十二月十六日)

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に段位、氏名を忘れず記入のこと。

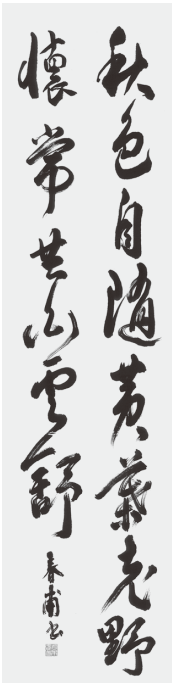
※出品資格…五段以上。A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

(選評)
師範・準師範の部

桂園君 行、草のつかい方が見事。すっきりとして味わい深い作品。
翠玲君 筆の開閉に緩急をつけ個性ある表現に仕上げた。
籬東君 紡錘形の構成もよいが、力まぬ書きぶりが尚よい。
翠柳君 穂先の軽妙な用筆がよく、構成も知的。
翠溪君 大胆な作。「老」から「常」に見応えあり。

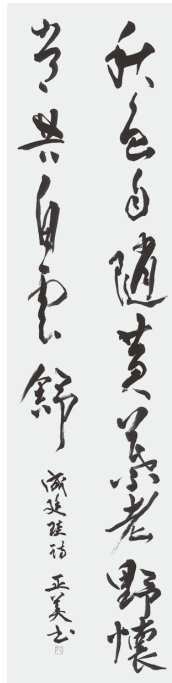
(助教以下の部)



舟木 春甫



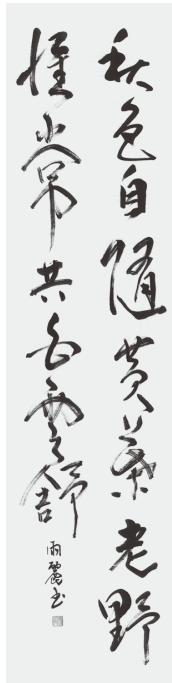
西嶋 青暎



加茂 正美

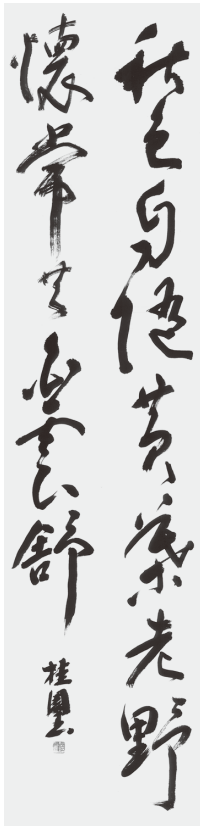


向井 富美



生田 雨麗

細い線で文字に大小をつけうまくとめた。



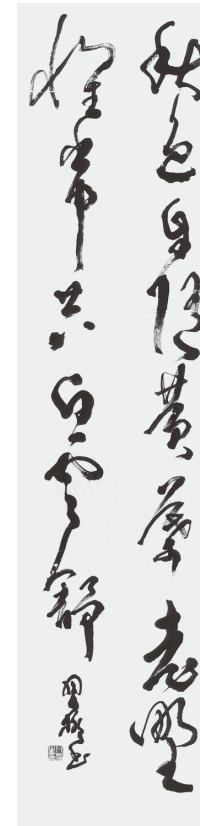
宮下 桂園



向山 翠玲



服部 籬東



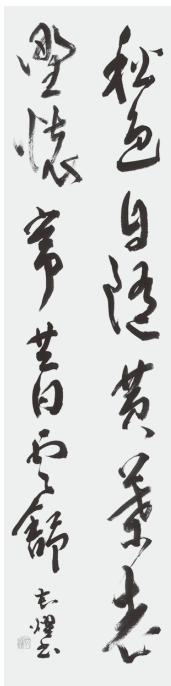
八幡 翠柳



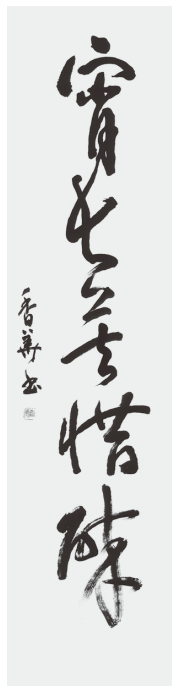
高井 翠溪



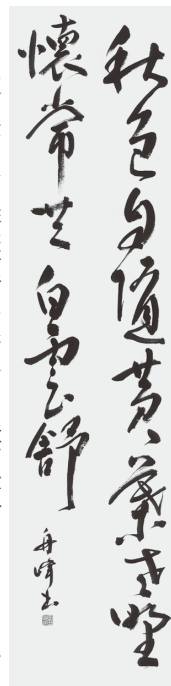
下野 紫悠



吉村 花耀



岡本 香華



西田 舟峰



上田 桃久

紙面一杯にかかっているが転折の強さが作品を引き締めている。